

助成者	田中 樹	活動期間	2020年4月～2024年9月 活動中
所属機関	学校法人常翔学園 摂南大学	職名	農学部 教授

ベトナム中部山間部での地域資源と在来知の活用による 生態系保全、生計向上および社会的弱者層の支援に資する在地生業群の創発と展開

【活動場所】 ベトナム 中部トゥアティエンフエ省の山間地域（ホンチャ県ホンティエン郡）

【事業目的】 貧困問題と環境荒廃が連鎖するベトナム中部少数民族居住地域において、潜在的な地域資源を活用し、地域住民の目線に立った具体的な活動内容を通じてそれらが相乗的に連動することにより、貧困の削減、土地資源や生態系の保全、安全・安心で付加価値の高い産品生産による地域経済の振興などへ貢献することを目的とする。



【活動内容】

- ①在来ミニブタの飼養
- ②野生鶏交配種の飼養
- ③セイヨウミツバチの周年庭先養蜂
- ④野生ミツバチ養蜂
- ⑤発酵飼料の調製（小家畜飼養用）
- ⑥ヤギ飼養など

【活動状況】

コロナ禍や自然災害（洪水）発生、アフリカ豚熱の流行により、1年目、2年目事業は中断と延長を余儀なくされ、現在3年目の事業中。1年目導入して死亡した在来ミニブタは感染対策をしたのち2年目再投入。野生鶏交配種の飼養、セイヨウミツバチの養蜂は順調に進むが、野生ミツバチの養蜂は不調。養蜂の経済価値が低迷しており、養蜂活動は最小限に抑える。キャッサバに米糠を混ぜたサイレージ調製は順調に推移。新たにヤギ飼育を開始。アカシアやゴム樹林地の下草の除草してくれる効果もあり、住民が関心を持ち始めることとなった。いろいろな苦難もあったが、創意工夫しながら自立的かつ積極的に活動が展開されている。